



地域(亀山市)と連携の取れた三重県づくり

三重県議会議員 長田たかひさ

2015年10月
No.27



事務所

〒519-0124 亀山市東御幸町233-2
TEL 0595-82-8700 FAX 0595-82-8775
ホームページ <http://www.enjoy-nagata.jp/>

所属委員会

● 戦略企画雇用経済常任委員会 委員(戦略企画部、雇用経済部、出納局、議会事務局、監査委員、人事委員会、労働委員会の所管及びこれに関連すること)
● 予算決算常任委員会 委員(予算、決算及びこれに関連すること)
● 広聴広報会議(「みえ県議会だより」の発行、みえ県議会出前講座の実施、テレビや新聞などでの県議会の広報に関すること)

◇皆様のご意見をお聞かせ下さい◇

平成27年定例会(9～10月)から

平成27年度9月補正予算について

今回の補正予算は、伊勢志摩サミット開催に備えるための警備体制の強化や道路・交通安全施設の整備等について、それぞれ所要の措置を講じるものです。

1 公共事業(県単公共事業)

5,446,900千円

来春の伊勢志摩サミット開催に備え、各国首脳等が安全で円滑に移動できるよう、会場地及びその周辺における県管理道路の整備や景観整備等を行う。

目的1 サミットの確実な実施【対象者:要人・関係者】

【整備内容】舗装整備/河床整備、河川除草/照明灯設置(撤去)/監視カメラ設置(撤去)/防護柵更新(ガードパイプへの転換)/湾岸施設修繕/海岸施設修繕 他

目的2 三重の好印象の発信【対象者:国内外からの来訪者】

【整備内容】案内標識設置(英語表記)/港湾区域遊歩道等の景観整備/沈没船の撤去/景勝地における伐採/橋梁の再塗装 他

目的3 交通規制や交通量の増加等による生活への影響低減【対象者:地域住民】

【整備内容】歩道整備/交通安全施設補修/迂回路整備 他

2 交通安全施設整備関連事業

321,130千円

(国補交通管制センター設置費ほか)

来春の伊勢志摩サミット開催に備え、各国首脳等が安全で円滑に移動できるよう、会場地及びその周辺における信号機・道路標識等の改良や交通管制機器の整備等を行う。

3 テロ等対策費

78,929千円

伊勢志摩サミットに参加する各国首脳等の安全と行事の円滑な遂行を確保するとともに、テロ等違法行為の未然防止を図るため、110番システム端末の増設や警備計画書作成システムの整備等を行う。

4 (新)地震・津波観測システム

33,240千円

(DONET)整備事業

伊勢志摩サミット開催時における伊勢志摩地域の津波防災対策を強化するため、南海トラフ地震による津波被害等の即時予測が可能な地震・津波観測システム(DONET)を整備する。

5 地域と共に創る電気自動車等を活用した低炭素社会モデル事業

111千円

伊勢志摩サミットの国際メディアセンターが設置される県営サンアリーナに、サミット当日及びサミット後の電気自動車等の利用を見込み、電気自動車用充電器を整備する。

三重交通G(グループ)スポーツの杜 伊勢陸上競技場整備事業の完成イメージ図を公表

三重交通Gスポーツの杜 伊勢の陸上競技場整備事業は、平成30年の全国高等学校総合体育大会や平成33年の「三重とわか国体」の開催に向けて、公益財団法人日本陸上競技連盟の第1種公認陸上競技場の施設基準に適合する施設に改修するため、平成29年度中の完成をめざし、平成27年3月から工事に着手し、補助競技場・投てき場及び駐車場の造成工事は、8月に完了しました。引き続き、駐車場については、12月中旬、補助競技場・投てき場については、平成27年度内の完成を目途に整備を進めています。

今後、平成27年内には現在のメインスタンドの解体工事に着手し、平成28年度からは、新たなメインスタンドの建築工事に着手する予定になっています。

なお、メインスタンド建築工事につきましては、現在、実施設計を行っている段階ですが、基本設計完了の時点で、完成後のメインスタンドは、従来の競技場には無かった大屋根が設置され、観客席は1,000席増となります。その他、照明設備が新設され、大型映像装置もリニューアルされることとなります。



Information ① 伊勢志摩サミット三重県民会議シンボルマークが決定



伊勢志摩サミット
三重県民会議

国のロゴマークの決定に先んじて、多くの県民ができるだけ早期に、かつ自由に使用できる県民会議としてのシンボルマークを独自に作成したものを。

【作者:近藤敦也さんのコメント】

手を繋ぐ2人で、次世代へのつながりを表現しています。波線は、世界の人々と三重県の人々のつながりのタスキを表現しています。サミットで培われたあたたかなつながりを次世代へ受け継いでいこうという決意を込めています。

伊勢志摩サミット三重県民会議とは

サミットを成功させるため、県民、関係機関・団体、市町や県といった多くの関係者の参画を得て、県全体の総力を結集し、サミット開催に向けた準備を進めるとともに、サミット開催による効果を、伊勢志摩地域のみならず、県全体に波及させ、さらには一過性のものとしないうちに、県民一人ひとりが積極的に関わり、サミット開催後をも見据えた事業を企画し、全県的な取組として展開していく組織で、平成27年6月26日設立されました。

